
だるまさんが転んだ【200文字小説】

ぬこ巻き寿司

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

だるまさんが転んだ【200文字小説】

【Zコード】

Z2243BA

【作者名】

ぬー巻き寿司

【あらすじ】

だるまさんが転んだ。だるまさんが転んだ。だるまさんが転んだ。
だるまさんが転んだ。だるまさんが転んだ。だるまさんが転んだ。
さて、これだけ唱えて何人がどうなった？

(前書き)

この小説は僕の短編小説、「幽霊と浴槽と乗り突っ込みと」を元に
怖い話にしてみた奴です。そつちも読んでくれたら嬉しいです（；
。）ア . . .

だるまさんが転んだ。

お風呂で唱えると幽霊が出る言葉。

酷くくだらないと思つ。みんなそういうスリルを求めてるだけなんだ。

そもそもそんなので幽霊が出たら日本中が大騒ぎだ。

俺は鏡の正面で唱える。

「だるまさんが転んだ」

さあ何があるのだろう。と思っていた俺には残念なことに鏡には風呂桶と幽霊なんていない何もない空間が其処にあるだけだった。

つまりない。やつれと風呂から上がってテレビでも見よつ。そう思つてひこじた。

(後書き)

「幽靈なんていらない何もない空間があるだけ」
あれ、自分の姿は鏡に映っていたのかな……？
風呂桶を描写しといて自分を描写しないのなんて、ねえ。

幽靈は出なかつた代わりに自分が消えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2243ba/>

だるまさんが転んだ【200文字小説】

2012年1月5日18時54分発行